

謹呈

Vol. 6, No. 11

Acta Urologica Japonica

November, 1960

泌尿器科紀要

第 6 卷 第 11 号

昭和 35 年 11 月

随想 徳島 便り 江 本 侃 955

前立腺間質結合繊増生へ及ぼす抗男性ホルモン療法の影響についての実験的研究
第1報 合成発情物質投与, 除辜術及び副腎皮質ホルモン投与の
ラツテ前立腺組織への影響についての生体染色による研究 緒 方 二 郎... 957

前立腺間質結合繊増生へ及ぼす抗男性ホルモン療法の影響についての実験的研究
第2報 合成発情物質投与, 除辜術及び副腎皮質ホルモン投与のラツテ脾
及び肝組織への影響についての生体染色による研究 緒 方 二 郎... 982

睪丸造精機能の研究
第1編 諸種疾患における睪丸造精機能について 碓 井 博 司... 998

腎動脈撮影法の研究
第1編 京大泌尿器科教室例の総合的観察 大 谷 幸 郎...1019

腎動脈撮影法の研究
第2編 腎動脈内径及びネフログラと腎機能との関係 大 谷 幸 郎...1028

慈大式人工腎臓 "Jikei ELECTRO-DIALYZER" の研究
第4報 基礎的諸問題 三 浦 義 信...1043

慈大式人工腎臓 "Jikei ELECTRO-DIALYZER" の研究
第6報 Salicylate 透析に関する実験的研究 松 本 孝...1059

超薄切片法に依る Condyloma Acuminatum の電子顕微鏡的観察 矢 吹 芳1073

副腎のレ線学的研究
後膜膜気体造影法と断層撮影法の併用について 松 田 イツ子...1088

強力モリアミンS長期投与における実験マウスの病理学的研究
..... 尾 松 謙・奥 村 雄 作・藤 尾 勲...1111

編集後記・購読事項・投稿内規1116

An Experimental Study on the Influence of Antiandrogenic Therapies upon the Fibrosis of Prostate
Report I : Vital Staining Findings in the Prostate of Rats following the Estrogen Administration, Orchidectomy and Cortisone Administration. J Ogata... 957

An Experimental Study on the Influence of Antiandrogenic Therapies upon the Fibrosis of Prostate
Report II : Vital Staining Findings in the Spleen and Liver of Rats following the Estrogen Administration, Orchidectomy and Cortisone AdministrationJ. Ogata... 982

A Study on Spermatopoietic Function of the Testicle
I. Spermatopoietic Function of the Testicle in the Various Diseases ...H. Usui... 998

A Study on Renal Arteriography
I. Inclusive Observations on Renal Arteriography at the Department of Urology of Kyoto University Hospital.....Y. Ohtani...1019

A Study on Renal Arteriography
II. Relationship Between Internal Diameter of Renal Artery and Nephrogram and Renal Function.Y. Ohtani...1028

The Studies on the Jikei Electro-Dialyzer
Report 4: Fundamental Problems.....Y. Miura...1043

The Studies on the Jikei Electro-Dialyzer
Report 6 : The Experimental Study on the Dialysis of the Salicylate. T. Matsumoto...1059

Electron-Microscopic Studies on the Condyloma Acuminatum by Ultra-thin Sectioning.Y. Yabuki...1073

A Roentgenographic Study of the Adrenal Gland with Special Reference to the Use of Pneumoretroperitoneum and Tomography. I. Matsuda...1088

Experimental Study of Pathologic Changes in Mice Produced by Long-Term Administration of "Moriamin S".
.....Y. Omatsu, Y. Okumura and I. Fujio...1111

京都大学医学部泌尿器科教室

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Japan.

Editor : Prof. Tsutomu INADA

泌尿紀要
Acta Urol.

編集後記

今年の東部地方会は10月23日、慈恵医大にて南教授会長の下に行われた。同大学は長い歴史を持ち、講堂は古いけれどもドッシリした立派なものであり、すぐ近くに東京タワーが立っている。参加者は約300名で盛会である。座長は終始南会長がつとめられた。嘗ての京大外科教授鳥潟博士がこの方式を行われたと聞いているが、座長には御苦労であるが、意義のあるやり方である。会長演説「遊走腎症の二、三の問題」、特別講演「男子不妊症の臨床」志田圭三助教授、「血精液症に就て」百瀬剛一教授はいずれも20分間の演説であつたが、内容の充実したものであつた。一般演説は47題が行われた。その演説時間は予め演題によつて3分、5分、7分、10分等に決められていた。また予定時間が所々で決められており、これによつて進行状況が調節されていた。特に異色のあつた点は、幾つかの問題に就て予め決められた権威ある特別発言者が意見を述べられた事である。このように種々の新機軸があり、更にどの演説も内容豊富で、学会全体の調子を高めていた。次会は東北大学と決められた。



第11回中部地方会は11月3日、大阪医大にて石神教授会長の下にて行われた。その前夜に京都の鴨川畔舟慶楼にて幹事会が開かれ、次会の岐阜が再確認され、次々回は奈良と決定せられた。学会には約200名が参加した。特別講演は石神教授の「男子不妊の研究」で、多年の研究の集積である。招請講演の一つは大阪医大病理学浜本祐二教授の「ある面より見た腎炎」で、実験的腎炎を主とした研究であり、他の一つは大阪市大外科原田直彦助教授の「尿管粘膜の移植」であつた。この3つの演題は、最近の泌尿器科学が広い領域に伸びて行こうとしている姿を如実に示しているものと考えられ、また新しい研究領域はいつまでも尽きないことを現わして、甚だ興味が深い。一般演説にも実験的なもの、臨床的なものそれぞれに新知見が多くあつた。やはり学会の行われる度毎に学問の進歩を実感するのである。懇親会は大阪に出て梅田の「ミュンヘン」で盛大に行われた（昭和35年11月）

購読要項

1. 発行は毎月（年12回）とする。年間購読者を以て会員とする。
2. 会員は年間料金を1,000円を前納する。1冊料金100円、払込みは振替口座番号京都4772番泌尿器科紀要編集部、或は第一銀行百万遍支店。
3. 入会申込みは氏名（フリガナ）、住所（雑誌郵送先）、勤務先、職地位、自宅開業の別、送金方法を御記入の上編集部宛。

投稿内規

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他。寄稿者は年間購読者に限る。
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする。
3. 原稿は横書き、当用漢字、平仮名、新仮名使いを用い、片仮名には括弧を要しない。400字詰原稿用紙を用いること。附表、附図はなるべく欧文にすること。
4. 文献の書式は次の如くする。著者名：誌名、巻数：頁数、年次。
例。中野：泌尿紀要、1：110、昭30。Lazarus, A.: J. Urol., 45：527, 1941。
5. 300語以内の欧文抄録を記し、之には欧文の標題、所属機関名、ローマ字著者名を付け、なるべくタイプライターを用いること。希望の場合は当編集部にて翻訳します。抄録用の原稿を送ること。翻訳の実費は申受く。
6. 掲載料は4頁迄毎頁500円、それ以上の頁、アート頁、図表、写真は実費を申受ける。別冊20部を無料贈呈、それ以上は実費を徴収する。この場合には予め希望部数を申込むこと。特別掲載も考慮する。
7. 校正は初校のみ著者校正とし、再校以降は編集者が行う。
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部。